

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	幅広い教養と深い専門的な知識・技能・態度、及び生涯にわたり自己研鑽に励む姿勢を礎として、医療薬学領域において斬新な研究を展開することができる。
DP2	医療薬学領域において、課題を発見し、深く掘り下げて研究し、解決に向けて努力することができる。
DP3	科学的洞察力とリーダーシップを発揮し、地域社会、国際社会、企業社会に貢献することができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP										責任主体	備考	
			DP1	DP2	DP3										
共通基礎アセスメント項目															
1	入学試験	入学定員充足率及び収容定員充足率によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
2	GPA	GPA分布によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
3	成績評価	成績分布及び単位修得率によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
4	履修状況	履修登録率によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
5	在学生調査	在学生意識調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
6	海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等	各海外プログラム/インターシップ/プロジェクト/ボランティア/学会/課外活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
7	地域活動	各地域活動等の参加者及び成果によりアセスメントを行う。			○									研究科執行部	
8	退学率/休学率	退学率及び休学率によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
9	検定/資格（外部語学検定試験含む）等	各種検定・資格の受験条件充足率、受験率、合格率等によりアセスメントを行う。													実施している専攻のみ対象
10	学位授与	学位授与数によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
11	修了後の進路	就職率及び進学率によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
12	修了時調査	修了時調査の調査回答率及び各設問の肯定回答率によりアセスメントを行う。	○	○	○									研究科執行部	
論文作成過程アセスメント項目															
13	医療薬学演習（1年次9月）	医療薬学演習の中で研究計画書を作成し発表する。研究科教員と討議しながら研究計画書を提出する。その研究計画書の達成度を担当教員が評価する。その平均達成度を総括的に評価してアセスメントを行う。	○											研究科執行部	
14	医療薬学特別演習（1年次9月、2年次9月と2月、3年次9月と2月）	医療薬学特別演習の中で半年ごとに研究進捗を主担当ではない研究科教員に対して発表する。そのプレゼンテーションに関してルーブリックを活用して院生のパフォーマンス評価を行う。大学院教務がそれらのルーブリック評価の平均達成度を総括的に評価してアセスメントを行う。	○	○										研究科執行部	
15	研究中間報告書（1年次9月、2年次9月と2月、3年次9月と2月）	医療薬学特別演習として半年に一度研究進捗の発表と主担当ではない研究科教員との討議を行う。そのまとめを研究中間報告書として提出する。その研究中間報告書の達成度を担当教員が評価する。その平均達成度を総括的に評価してアセスメントを行う。	○	○										研究科執行部	
16	博士論文予審査発表会（4年次9月）	研究科委員会にて委員会構成教員が博士論文予審査発表会におけるプレゼンテーションに関してルーブリックを活用して院生のパフォーマンス評価を行う。大学院教務がそれらのルーブリック評価の平均達成度を算出して、総括的に評価してアセスメントを行う。	○	○										研究科委員会	
17	博士論文本審査発表会（4年次2月）	研究科委員会にて委員会構成教員が博士審査基準に基づいて博士号授与の審議を行う。博士課程の修了人数と修了率でアセスメントを行う。	○	○	○									研究科委員会	
18	研究者能力ルーブリック評価（4年次2月）	教務もしくは研究指導教員（複数）が院生の科学的洞察力、リーダーシップ、地域社会・国際社会・企業社会への貢献能力に関して研究者能力ルーブリック（未作成）を活用して院生のパフォーマンス評価を行う。大学院教務がそれらのルーブリック評価の平均達成度を総括的に評価してアセスメントする。			○									研究科執行部	DP3と博士論文審査基準②(3)研究者として今後の発展性を測定できる研究者能力ルーブリック表を開発する。

医療薬学専攻博士（課程レベル）新旧DPマッピング表

◆新DPと旧DPの比較

新ディプロマ・ポリシー (2022年度入学生から適用)	
DP1	幅広い教養と深い専門的な知識・技能・態度、及び生涯にわたり自己研鑽に励む姿勢を礎として、医療薬学領域において斬新な研究を展開することができる。
DP2	医療薬学領域において、課題を発見し、深く掘り下げて研究し、解決に向けて努力することができる。
DP3	科学的洞察力とリーダーシップを発揮し、地域社会、国際社会、企業社会に貢献することができる。

旧ディプロマ・ポリシー (2021年度入学生まで適用)	
DP1	幅広い教養と深い専門的な知識・技能・態度および生涯にわたり自己研鑽に励む姿勢に基づき医療薬学領域における研究力を発揮できる能力
DP2	医療薬学領域において課題を発見し問題を解決する能力
DP3	科学的洞察力とリーダーシップを発揮し、地域社会・国際社会・企業社会に貢献できる能力

◆新DPと旧DPのマッピング

新DP	旧DP										
DP1	<u>DP1</u>										
DP2	<u>DP2</u>										
DP3	<u>DP3</u>										

備考